

かけはし

岩国市立錦中学校だより 第6号

令和2年(2020年) 6月24日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

「体験が育むもの」



6月13日 土曜塾のようす

校長 秋本 泰宏

6月13日(土)16:00から府谷研修集会所で開かれた錦地域協育ネットの主催による土曜塾『ジャガイモ掘りを楽しもう』に参加させていただきました。

朝からかなり激しい雨が降り、今日の会は中止だと思っておりましたが、わずかに雨雲が切れた時を狙って、小学生と一緒にジャガイモ掘りを楽しみました。参加者の中に4歳の女の子がいて、「ジャガイモ掘りは何

回目？」と聞くと、かわいらしい声で「1回目」と答えてくれました。

帰宅途中、「ジャガイモ掘り」の体験は、今日の小さな女の子に何を教えてくれるのだろうかとぼんやりと考えていました。葉の形、ジャガイモの付き方、土の匂い、土の触感…。直接的な体験は多くの情報を含み、子どもたちの感性を磨きます。

2年生の国語で、清少納言の『枕草子』を少し前に学習しました。学習の中で「私の『春はあけぼの』」という課題が提示され、各自季節の美しいものを考えたところ、右の表のような表現がありました。

桜や雪の表情、海ではなく川の様子…これらを美しいものと例える生徒の感性は、幼い頃から、錦町・美川町で体験を通して育まれたものだと考えられます。

一方、体験がなく、理解しにくい言葉もあります。例えば、同じく2年生の国語科の授業では、『字のない葉書』(向田邦子著)の中に、「…母は当時貴重品になっていたキャラコで肌着を縫って名札を付け…」とあります。この文章に出てくる「キャラコ」という語句は現在の中学生には、理解できない語句です。そこで、国語科の教員は実際のキャラコを用意し、「キャラコの布地です。今はゼッケンとかに使われるそうです。戦争中はもっと品質が悪いかも。さわってもいいですよ」とメッセージを添えて掲示し、子どもたちに不足している体験を補うよう工夫しています。

土曜塾で話をすることができた小さな女の子は、これからどんな素敵な体験をして将来中学校に入学してきてくれるのだろうと思いつつ家路を急ぎました。

春	<ul style="list-style-type: none">どこまでも広がる黄色い菜の花下校途中の満開の桜、吹雪のように散る桜一気に増える緑
夏	<ul style="list-style-type: none">下校途中に少し涼ましてくれる葉桜ポツポツと光る蛍鮎釣りのおじさんとてもきれいな川ほわーってなる地面
秋	<ul style="list-style-type: none">銀杏が全部黄色になったとき小学校の真っ赤になった紅葉枯れかかった木がある森
冬	<ul style="list-style-type: none">しんと降り積もる雪、舞う雪、あたり一面に積もっている雪、ふわふわとした雪、ちらちら降っている雪、半分溶けてシャーベットみたいになった雪まっすぐぶら下がっているつらら水たまりの水面の薄氷

本年度もメディアコントロールチャレンジに取り組みます

先日文書でお知らせしたとおり、本年度も錦中学校区の小中学校、広瀬分校が共同してメディアコントロールチャレンジに取り組みます。表側にも書きましたが、子どもたちの豊かな感性を育むには、体験が重要です。その補助的なものとしてメディアを活用することは大変効果的であると考えます。

しかし、メディアだけを活用し、インターネットで調べただけでわかったつもりになっていることは、本当の理解とは言えません。また、子どもたちの興味・関心だけでメディアを活用した場合、考え方に公平性がなくなり、大変危険です。

さらに、中学生とはいえど、ほとんどの子どもたちは判断力がまだまだ未熟です。そのため、メディアの操作だけに気をとられ、獲得した情報や発信した情報が最悪の場合、犯罪につながる可能性もあることが理解できていません。このことは、メディアの特性上、どの地域でも、どの子どもにも起きる危険性をもっています。

ちなみに、これまで私が知っているメディアによる様々な問題は、例えば21時以降は使わないと家族で約束しているにもかかわらず、21時以降に使って発生していることがほとんどです。

このメディアコントロールでは、ステップ1で生徒と保護者が生活をふり返るようになっていきます。ぜひお子さんとともにメディアに向き合い、メディアの有効性とその陰に潜む危険性について、しっかり話していただければと思います。よろしくお願いします。



廊下に飾られた美しい紫陽花の花

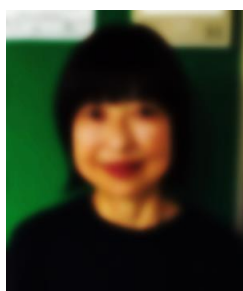
自分も保護者も納得できる「15の春」を

6月10日(水)本校コンピュータ室において、第1回進路説明会を開催しました。本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、保護者の参加を見合わせ、生徒だけが受ける説明会となりました。先日、学年部から、当日の説明の様子をDVDで配付しましたがご覧になりましたでしょうか？

進路説明会の開催にあたり、私の方から「大学へ進学するために高校を選択する、就職を考えるために高校を選択するなど進路選択にはいろいろな選択がある。しかし、どの進路選択も、その主語は自分である。つまり、進路選択は自分が行うものである。ただし、自分だけの進路選択だけでは、誤ることもある。そのためには、保護者も納得する進路選択を行ってほしい。」と、これまで私が出会った子どもたちの進路選択の例を取り上げながら、語りました。さらに、「今日は保護者が同席できないので、人任せにせず、責任をもって、今日の情報を確実に聞き取り、必ず保護者に伝えてほしい。」と結びました。

新しい先生の自己紹介

6月9日(火)より後任として新しい支援員が錦中学校に勤務しております。どうぞよろしくお願いします。



新しい支援員さんより

岩国駅より沿線の魅力をイラストにした錦川清流線に乗車して錦町まで通勤しています。過去には、錦川清流線の観光アテンダントをしたこともあります。錦町は、私にとって懐かしい場所です。このたび、錦中学校のみなさんと学校生活を送れることが本当に夢のようです。気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願いします。

